

平成 22 年度調査研究事業

(2) 課題解決研究 (11 件)

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額
1	北里大学海洋生命科学部 教授 森山 俊介	<p>題目：サケの卵巣外皮から調製した機能性成分の水産増養殖への活用法の検討</p> <p>目的：サケのイクラを採取した後に廃棄処分されている卵巣外皮を水産増養殖に有効活用する新技術を開発し、未利用資源に付加価値を創出することを目標として、サケ卵巣外皮由来の成長促進因子の探索及び機能性の解明を行い、効率的な抽出・調製法を確立し、機能性飼料の開発を行う。</p> <p>期間：平成 22 年度～平成 23 年度</p>	1,000,000
2	東北大学大学院農学研究科 教授 遠藤 宜成	<p>題目：養殖ワカメに被害を与える吸管虫の生物学的研究</p> <p>目的：岩手県や宮城県沿岸で養殖ワカメに大きな被害を与えている吸管虫類繊毛虫について、経時的にワカメへの付着を調査し、付着が始まる環境的要因を突き止める。並行してワカメ養殖期以外の付着期ステージの有無を観察や吸管虫の増殖様式などを明らかにし、被害を少なくする方策を考える上での基礎的知見を得る。</p> <p>期間：平成 22 年度～平成 23 年度</p>	670,000
3	財団法人岩手生物工学研究センター 研究員 山田 秀俊	<p>題目：未利用低利用三陸水産資源の健康機能性探索</p> <p>目的：三陸産水産資源の中でも未・低利用水産物（サケ卵巣膜、イサダなど）に焦点をあて、新規機能性の探索（抗肥満効果、脂質代謝改善効果、抗腫瘍効果、免疫賦活効果、抗炎症効果）と既知の機能性物質の効能についての解析を行う。</p> <p>期間：平成 22 年度</p>	1,000,000
4	北里大学海洋生命科学部 准教授 林崎 健一	<p>題目：湾内環境モニタリングシステムの有効活用に関する研究</p> <p>目的：湾内の漁業生産に影響を与える水温や風などの環境要因を低予算でリアルタイムにモニタリングする 3 次元観測網を開発し、三陸域の各湾に配備することにより、湾内の水塊の移動パターンを明らかにするとともに、水温変化とホタテ斃死や植物プランクトンの生産との関係について検討を行う。</p> <p>期間：平成 22 年度～平成 23 年度</p>	992,288 (期間延長)

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額
5	東京海洋大学海洋科学部 准教授 佐々木 剛	題目：さんりく ESD 閉伊川大学校におけるキャパシティービルディングに関する研究 目的：さんりく ESD 閉伊川大学校において、市民参加型のワークショップを開催し、自然環境を用いた一般市民や児童生徒を対象とした学習教材プログラムを作成し、教育実践を行うためのキャパシティービルディング（人材育成）方法に関する研究を行う。 期間：平成 22 年度	1,000,000
6	北里大学海洋生命科学部 講師 山田 雄一郎	題目：岩手県沿岸におけるサケ幼稚魚の餌料環境の解明 目的：放流稚魚の生残率を増加させ親魚の回帰率を高水準に保つために、動物プランクトンの群集組成と生物量の季節的変化を精査し、沿岸域におけるサケ幼稚魚の餌料環境を解明する。 期間：平成 21 年度～平成 22 年度	404,960 (期間延長)
7	岩手大学農学部 准教授 木村 賢一	題目：三陸沿岸に生息する海藻由来の疾病の予防や治療に有効な物質の探索 目的：三陸沿岸に生息する、特に未利用の海藻類（ミツデソゾ他）から、人間の各種疾病に対して予防や治療効果を有する、構造や活性において新しい低分子機能性物質（バイオプローブ）を探索し、その単離精製、構造決定、並びに作用メカニズムの解析を行い、特許申請の後企業と共に開発の可能性を探る。 期間：平成 21 年度～平成 22 年度	999,320
8	一関工業高等専門学校 教授 二階堂 満	題目：コンバージミルを用いた廃棄貝殻の有効利用 目的：三陸の廃棄貝殻の有効利用を目的とし、廃棄貝殻（主にカキ殻を中心）に他の原料を混合のうえ、高エネルギー付加型粉碎機（コンバージミル）でメカノケミカル粉碎し、機能性材料（ハイドロキシアパタイト）を合成する。また、機能性材料の用途として主に重金属固定化剤や抗菌剤を想定し、連続的に重金属吸着処理ができる、排水の連続処理装置の設計を行う。 期間：平成 21 年度～平成 22 年度	943,140

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額
9	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沿岸におけるミズクラゲ類の生態について 目的：漁業被害を与えるキタミズクラゲおよびミズクラゲの野外生態について、定置網漁船などへの乗船調査や港湾岸壁調査等を行い、明らかにする。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度	1,000,000 (期間延長)
10	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沖日本海溝海底の亀裂中に存在する海底ゴミと現場微生物に関する調査 目的：三陸沖日本海溝側斜面に発見された海底の亀裂の底に蓄積されたゴミの種類と分布を調べ、現場環境に生息する微生物の多様性を明らかにすると同時に、現場のゴミ成分を分解できる能力を持った有用微生物を分離する。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度	1,000,000 (期間延長)
11	岩手大学工学部 教授 成田 榮一	題目：廃棄貝殻を原料とする新しい環境浄化材料の開発 目的：養殖水産業で大量に発生する廃棄貝殻の有効利用を背景とし、これを原料に簡便な処理を施すことによりラジカル発生剤を得る方法を確立し、その発生機構を明らかにするとともに、これをシックハウス成分のホルムアルデヒドなどの環境汚染物質の分解に利用しようとするもの。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度	1,000,000 (期間延長)
			基金助成額計：10,009,708 円